

令和5（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	マダコ	対象水域	太平洋中・南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、愛知県水産試験場、三重県水産研究所、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、大分県農林水産研究指導センター水産研究部、宮崎県水産試験場	協力機関名	

1. 調査の概要

漁業・養殖業生産統計年報の本海域におけるたこ類の漁獲量はマダコが主体であり、本資源評価で利用している。

各県は漁獲統計調査を実施している。千葉県は2004年以降、神奈川県は2015年以降、三重県は2002年以降、徳島県は2005年以降、大分県は2006年以降、宮崎県は2006年以降の漁法別漁獲量を、愛知県は2001年以降の日別漁法別漁獲量を、それぞれ収集している。

2. 漁業の概要

本種はたこつば漁業や釣り漁業、底びき網漁業で主に漁獲される。漁業・養殖業生産統計年報における全漁業種によるたこ類の漁獲量は、太平洋中区では2003年の1,894トンから減少傾向で、2022年は396トンであった（図1）。太平洋南区も2003年の255トンから減少傾向で、2022年は91トンであった。

3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：太平洋側で三陸以南、日本海側で北陸以南から九州付近まで分布。沿岸の砂地や岩礁域に生息し、岩の穴や転石の下を巣として主に夜間に活動。

(2) 年齢・成長：寿命は1～2年。

(3) 成熟・産卵：産卵期は5～10月。

(4) 被捕食関係：肉食性で貝類や甲殻類を捕食

(<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/archive/27,1128,55,227.html>、2023年12月5日閲覧)。

4. 資源状態

資源量や資源量指標値のデータはなく、資源状態は不明。今後、漁獲努力量などに関するデータ収集が必要である。千葉県の沿岸水産資源の令和4年度資源評価では、外房のたこつば漁業のCPUE（1隻当たり漁獲量）を基準にして、外房海域における本種の2022年の資源水準を中位、動向を横ばいと評価している（千葉県 2023）。

5. その他

千葉県では沿岸重要水産資源として外房海域における本種の資源評価が実施されている。ただし、外房海域で漁獲されるマダコの分布は東北ブロックとの関係が強いことに留意する必要がある（千葉県 2023）。

6. 引用文献

千葉県 (2023) 千葉県沿岸重要水産資源 令和 4 年度資源評価 マダコ (外房). 令和 4 年度千葉県沿岸水産資源の資源評価.

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/documents/17-r4madako.pdf>

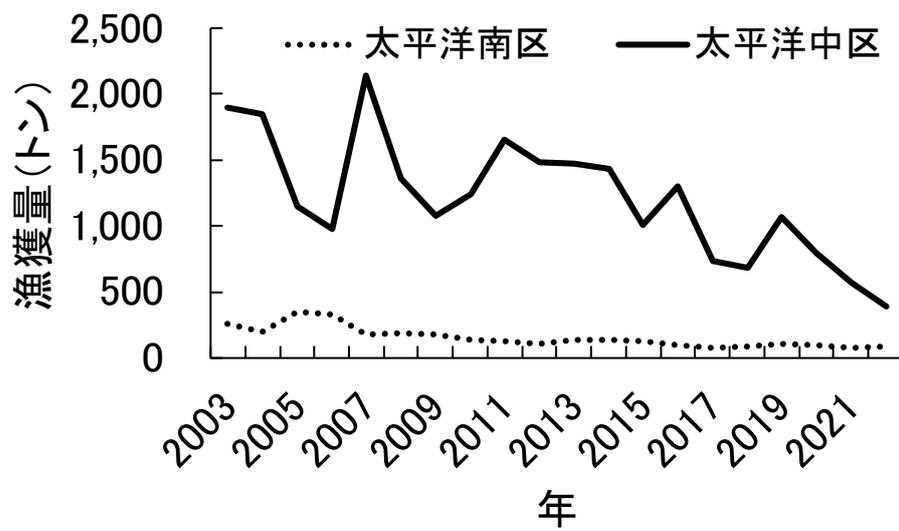


図1. 太平洋中区および南区におけるたこ類の漁獲量の推移（漁業・養殖業生産統計年報）